

週報

2022年度 教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

<先週の説教から>

『ヘブライ⑩—モーセの信仰』

武田真治牧師

出エジプト記 2 : 11-25 ヘブライ書 11 : 23-26

このヘブライ書 11 章は、旧約聖書の初めから「信仰によって」生きた人物をピックアップしながら、各々の人生における「信仰によって」行ったことを挙げていますが、そのほとんどは一人の人物に対して一つの出来事を選んで紹介しています。しかし、特に大事な人物については、その人生の何度かの場面で「信仰によって」決断をして生きたことを詳しく紹介しているのです。その人物がアブラハムと今日から読み始めるモーセです。各々3度その生涯の中で「信仰によって」決断した出来事があったと言っています。

ただ、モーセの人生へと話を進める際に、まず「信仰によって、モーセは生まれてから三か月間、両親によって隠されました。その子の美しさを見、王の命令を恐れなかったからです。」と始められています。これは実はモーセではなく、彼の“両親の信仰”を褒めている言葉なのです。当時、イスラエルの民はエジプトで奴隷状態にありましたが、増えて広がり勢力を増していました。その点を警戒したエジプト王ファラオは『イスラエルの民に男の子が生まれたら、ナイル川に放り込め(=すぐ抹殺しろ)』と命じていたのです。しかしその命令を「恐れず」彼らはモーセを隠し、なんとか命を長らえさせようと籠の中に入れてナイル川に流したのです。それをファラオの娘が拾い上げ、モーセは王女の養子として宮廷で成長したのでした。考えてみれば、この両親の行動がなければモーセは生き抜くことはできなかったのです。決して、モーセ一人の力や才能だけで偉業が達成出来たのではないのです。その点をヘブライ書は言いたいのです。思えばアブラハムも連れ合いのサラの信仰について触れられていました。信仰の偉人でも一人では立ち得なかったのです！

そして次から、モーセ自身の信仰について触れられます。「信仰によって、モーセは成人したとき、ファラオの王女の子と呼ばれることを拒んで、神の民と共に虐待される方を選

び、信仰によって、モーセは王の怒りを恐れず、エジプトを立ち去りました。目に見えない方を見ているようにして、耐え忍んだからです」と。ヘブライ書は長いモーセの人生でもその最初の“信仰の決断”に特に注目しています。この2つの“信仰によって”は、まさに①育った家を離れ、②生まれ故郷を出て、神様が示す地に行けという、あのアブラハムの信仰を彼も結果的に“継承した”のだと教えているのです。そしてだからこそ、そのようなモーセを神様はシナイ山で『モーセよ』と呼びかけられ『私はあなたをイスラエルの民に遣わす。私は必ずあなたと共にいる』と祝福と使命とを与えられ、用いられたのでした。“信仰に基づく決断”を為した者は、一方でしばらく“耐え忍ぶ”ことがあるかもしれませんが、必ずその人には神様が支えと祝福とお守りを与えてくださるという実例をモーセから教えられるのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 2月1日(水) 20:00
II. 2月2日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: 別帳会員を覚えて
担当者: (水) 岡田 (木) 田嶋
祈りに覚える人: 岩井さん 岩井さん

【教勢報告】

主日礼拝 男 22 女 58 計 80
祈祷会 I. 男5 女2 計7 II. 男2 女7 計9
日曜学校 幼稚科 8 小中科 12 計 20
ひじ雲の会 男 0 女 6 計 6

【次週主日礼拝】 2月 5日(日)

聖書: 出エジプト記 12:21~28
ヘブライ人への手紙 11:27~29

説教: 「ヘブライ⑩—出エジプトの信仰！」
武田真治牧師

讃美歌: 208(1)、32(1)、165(1と2)、
312(1~3)、29

【次週当番表】

司式: 飯田長老 奏楽: 羽倉 礼拝: 岩佐長老
献金: 伊藤 岩井 受付: 西尾 森本
会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田
看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】 礼拝前: ・聖書輪読会
礼拝後: ・長老会・会堂管理委員会

2023年 1月 29日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>